



故南洋廳長官横田郷助叙勲ノ件
 右謹テ裁可ヲ仰ク
 昭和六年十月二十日
 内閣總理大臣男爵若槻禮次郎



内
閣



賞勳局令第199號

内閣 勅令第九

昭和六年十月十九日

賞勳局總裁

内閣書記官

賞勳局

六十十一
昭和六年十月二十日裁可

昭和六年十月二十日裁可

内閣總理大臣

賞勳局總裁

故南洋廳長官正四位勳三等横田郷助儀ハ大正十二年四月南洋廳長官トシテ赴任以來今日ニ至ル迄在職實ニ八年有餘終始一貫恪勤精勵克ク身ヲ以テ範ヲ衆ニ示シ官規網紀、肅正ニ努メ同群島統治ノ根本方針ハ素ヨリ委任統治條項ノ精神ニ則リ島民

賞勳局

ノ物質的及精神的福祉増進ヲ圖リ諸施設經營宜敷ヲ得テ管内統治ノ治績大イニ舉テリ國際聯盟常設委任統治委員會ニ於テ各國委員ヨリ我帝國ノ統治ヲ以テ模範的トシ激賞セララル、ニ至リ我帝國ヲシテ愈國際的信用ヲ高メタル等功績顯著ノ者ニ候處本月十一日死去セル趣ニ付此際特ニ同日附ヲ以テ勳二等ニ叙シ瑞寶章ヲ授ケラレ度此段允裁ヲ仰ク

追テ本件擬叙勲等ニ付テハ主務
省ト協議濟ニ有之候

内閣

(25)

内閣 勅諭 九号

官秘第 二二九一號

昭和六年十月十二日

拓務大臣男爵若槻禮次郎



内閣總理大臣男爵若槻禮次郎殿

敘勲三等授旭日重光章故南洋廳長官正役勲三等横田郷助
右者大正十二年四月南洋廳長官トシテ赴
任以來今日ニ至ル迄實ニ在職八年有余常
ニ終始一貫恪勤精勵克ク身ヲ以テ範

拓務省

ヲ衆ニ示シ官規網規ノ肅正ニ努メ素ヨ
リ同群島統治ノ根本方針ハ委任統治條
項ノ精神ニ則リ島民ノ物質的及精神的
福祉増進ヲ圖リ益々委任統治地域統治
ノ基礎ヲ確立シタルノミナラス國際聯盟
常設委任統治委員會ニ於テ各國委員
ヨリハ我帝國ノ統治ヲ以テ模範的トシ大ニ
ニ激賞ヲ得テ愈我帝國ヲシテ國際的
信用ヲ高メタルコトハ全ク同人ノ功績頗ル
顯著ナルモノナル處本月十一日病ニ罹リ遂



ニ死亡セリニ付テハ同人多年ノ功績ニ鑑ミ此
際特ニ生前ノ日附ヲ以テ頭書ノ通敍勲儀
御詮議相成度及宣示請候也

拓務省

功績調書

故南洋廳長官 正四位勳三等 横田 郷 助

右者明治三十八年八月樺太民政署事務官任官以來數官ニ歷任シ大正十一年四月南洋廳創設勿々手塚長官ノ後ヲ受ケ翌十二年四月賞勳局書記官ヨリ南洋廳長官トシテ赴任爾來今日ニ至ル迄在職八年有餘ノ久シキニ亘リ同群島統治方針ニ付素ヨリ委任統治條項ノ精神ニ則リ島民ノ物質的及精神的幸福並社會的進歩發達ニ極力努力セリ

元來南洋群島ハ「マリアナ」「カロリン」及「マーシャル」ノ三群島ヨリ成リ其ノ廣袤實ニ南北ニ約千二百哩東西ニ約二千五百哩ノ海洋中ニ^星散基布スル千四百餘ノ島嶼岩礁ヨリ成リ其ノ陸地面積ハ極メテ狭少ニシテ全部合計スレハ約百四十方里ナリ從ツテ同一群島内ニ隔在スル島嶼中ニハ猶且ツ島民ノ種族異ナルモノア

拓務省

リテ彼此言語、風俗、習慣ヲ異ニシ又文化ノ程度頗ル低キ土民ナルニ付之レカ受任地域ニ於ケル諸施設ニ關シテハ多大ノ努力ヲナシ就中教育、産業、財政、交通警察、衛生等各般ノ政策ヲ樹立シ以テ我帝國委任統治地域統治ノ基礎ヲ確立シタルモノニシテ左^ニ大要ヲ列記セム

一、教育 就任以來漸次須要ノ地ニ小學校及公學校ノ新設並學級増加ヲ爲シ尙島民ノ職業教育機關トシテ一部公學校ニ南洋廳木工徒弟養成所ヲ附置シ各支廳管内公學校補習科卒業生ヲ選拔入學セシメ大イニ建築及木工ニ關スル智識技能ヲ習得セシムル等極力之レカ普及振興ヲ圖リタル結果現在同群島内僻陬ノ離島ニ至ル迄邦語大イニ普及シ蒙昧ノ島民遍ク皇澤ニ浴スルニ至リタルハ實ニ同人ノ功績ニ俟ツヘキモノ多大ナリ

大正十二年就任當時	公 學		小 學	
	校 數	學 級	校 數	學 級
一七	四八	三	四	一三八
現 在	二四	五八	九	一、五三五

二、産業 就任當時ハバラオ島ニ産業試験場ヲ有シタルノミナリシカ同人ハ特ニ熱帶産業ノ振興ヲ企圖シサイパン島及ボナベ島ニ同分場ヲ設置シ又バラオ島ニ水産試験場ヲ設ケ各般ノ調査試験ヲ爲サシムルト共ニ一面糖業、林業、漁業ノ指導獎勵ヲ爲シタル結果諸種ノ産業ハ茲ニ急激ナル發展ヲ見ルニ至リ又邦人ノ同群島ニ移住スル者年々著シク増加シ大正十二年僅カニ三、三一〇人ニ過キサリシカ今ヤ邦人ノ移住セルモノ二〇、七〇八人ヲ算スルニ至レリ

尙受任地域内ニ鑛産トシテ見ルヘキモノハ唯燐鑛アルノミニテ大正十二年「ア

拓 務 省

ンガウル」島ニ於ケル燐鑛探掘權及所屬土地建物諸機械等一切ノ權利利益ヲ百七十三萬九千餘圓ニテ帝國政府ノ買收スル處トナリ爾來南洋廳長官管理ノ下ニ南洋廳探鑛所ヲ設置シ經營シツツアルモノニシテ同探鑛所ノ收支決算其ノ他ヲ示セハ左ノ如シ

探鑛所收支決算

大正十二年度	收 入		支 出		差引益金
	円	円	円	円	
大正十二年度	一、〇四九、七七二	四四七、一九七	六〇二、五七五		
十三年度	一、〇九七、八九一	四一九、〇〇七	六七八、八八四		
十四年度	一、三二〇、五七三	四二九、七三一	八九〇、八四二		
十五年度	一、二九九、一三二	四三七、四九二	八六一、六四〇		
昭和二年度	一、三三五、一五七	四五四、四〇二	八八〇、七五五		

タイプライター用紙製本

(5. 11. 小松納)

めくれず

三年度	一、三八六、二二五	四六四、〇三七	九二二、一八八
四年度	一、四一四、八七五	四二六、〇一九	九八八、八五六
五年度	一、一五三、四六四		

砂糖生産高	數量	二〇、九六四 擔	六五〇、〇〇〇 擔
	金額	四、一九〇、〇〇〇 圓	九六四〇、〇〇〇 圓
椰子	面積	二、三、四八三 町	二、九三五〇 町
	噸數	五八〇二 噸	一一、四〇〇 噸
コブラ	噸數	六五一、〇八九 圓	九六八、〇〇〇 圓
	金額	一九六、〇〇〇 圓	九九五、〇〇〇 圓
水産物産額			

移出	三、六〇一、五三六 圓	一六、四〇八、九二七 圓
入總額		

獎勵及補助金支出額

航路補助	八、〇〇〇、〇〇〇	八、六九、五九七	七、六〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇
教化事業補助	三、三〇〇、〇〇〇	三、五〇〇、〇〇〇	三、四〇〇、〇〇〇	三、八〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇
觀光團補助	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
恩賜財團獎學會補助		三、〇〇〇、〇〇〇		三、〇〇〇、〇〇〇		三、〇〇〇、〇〇〇	
恩賜財團慈惠會補助							
産業獎勵金	一、二六六、六〇〇	一、二九、四四三	一、四八、三三〇	一、六九、九七七	一、六六、八三〇	一、八四、三六九	一、五三、一六〇
島民改善獎勵金	九、八八六	七、六四四	四、六六〇	四、〇六三	四、八七四	四、八四四	四、八一五
大正十二							
十三							
十四							
昭和元							
二							
三							
四							
五							

マイプライター用紙複製完全

(5.11. 小松崎)

船路回数	
東西連絡線	一六回
サイパン線	三四回

(ロ) 港灣設備 群島各島嶼ノ港灣ハ比較的天然ノ與惠ヲ受ケ大部分環礁ヲ以テ防波堤ノ效用ヲ爲シ良港ナル素質ヲ有スルモ之レニ相當人工施設ヲ加フルニ非サレハ完全ナル良港トナスコト不可能ナル状態ナルヲ以テ大正十五年先ツ同群島中殖産工業上重要ナルサイパン港ノ築港工事ニ着手シ昭和六年度ヲ以テ完成ノ豫定ニシテ其ノ總工費額百五萬餘圓ニシテ之レカ竣工ノ曉ニハ潮ノ干満ヲ問ハス三千噸級ノ船舶ノ出入ヲ便ニシ同群島發展ニ寄與スル所多大ナルヘシ右ノ外「バラオ」島「マラカル」港ハ海陸ノ連絡不便ナルニ付之レカ改善計畫ヲ樹テ大正十四年ヨリ汽艇航路ノ新設工事ニ着手シ其ノ總工費額十一

拓務省

萬四千餘圓ニシテ昭和四年完成セリ

(ハ) 道路改修

島内ノ道路ハ總テ不完全ニシテ主要島中本廳又ハ支廳所在地附近ノ外ハ僅カニ島民ノ通行ヲ目的トスル通路アルノミニ過キスシテ島内ハ地形上平地極メテ少ナク道路ノ築造ニ困難ナリシモ同人着任以來修築シタル道路ノ延長七五三二二米修築面積二五〇〇七三平方米ニシテ之レカ總工費十九萬餘圓ヲ要シタリ

右ノ外同人ハ島民福祉ノ増進ヲ圖リ窮民ノ救助策ヲ樹テ癩療養所ヲ設置シ又風俗衛生状態ノ改善等ニ努メ管内統治ノ治績大イニ舉リ國際聯盟常設委任統治委員會ニ於テハ毎年之レカ統治ノ實績ニ對シ多大ノ賞讃ヲ博シ特ニ第十二回右委員會ニ於ケル千九百二十六年帝國政府年報審査ニ際シテハ委任統治成績ノ全般ニ對シ

タイプライナー用紙 印刷局

各國委員ハ皆帝國ノ同群島統治ヲ以テ全ク模範的ニシテ他ニ其ノ類例ヲ見サルト
ノ激賞ヲ與ヘタル実績ニ徴スルモ顯カニシテ克ク我帝國ノ統治方針ヲシテ世界列
國ニ其ノ範ヲ示シ以テ愈國際的信用ヲ高メタル等同群島統治ノ功績頗ル顯著ナリ

拓務省

マイプライマール用紙並濃全葉

(5. 11. 小松納)

一、糖業上

從來南洋群島ニ於ケル島民ハ尙原始的ニシテ住民ハ天恵ニ浴シテ衣食住ニ對シ大ナル努力ヲ要セサルト而モ耕作ハ女子ノ職務ナリト心得男子ハ舊慣上ノ觀念ヨリ農耕ニ對シ冷淡ニシテ労働ヲ厭フ風習容易ニ去ラス全ク近代文明ヨリ取り殘サレタル如キ状態ニアリ從ツテ農作ノ如キモ「タロ」芋其他二三ノ作物ト小量ノ甘蔗ヲ栽培スルニ過キス

由來南洋群島ハ熱帶絶海ノ孤島ニシテ特ニ東西南北ニ隔在スル島嶼間ノ交通ハ極メテ不便ニシテ加フルニ物資缺乏ノ未開地ニ於ケル本島既設事業モ亦不振ノ際同人ノ就任ヲ見タル處最モ肥沃セル土地ノ大部分カ未墾地同様ナル状態ニアルヲ甚タ遺憾トシ將來之レカ交通、通信、衛生其ノ他諸般ノ施設ト相俟ツテ本群島ノ産業開拓ニアリトナシ先ツ甘蔗、蔬菜、珈琲ハ風土氣候ニ適應シ最モ有

拓務省

望ナリト認メ之レカ指導獎勵ニ多大ノ努力ヲ要セリ就中甘蔗ノ栽培ハ品種ノ改良、未耕地開墾、甘蔗苗圃設置、砂糖製造或ハ南洋廳長官ノ指示ニ依リ蔗園休閒地ニ綠肥作物栽培ナスモノニハ各々獎勵金ヲ下附スル等種々ナル手段方法ヲ講シ更ニ一殺農業上ノ智識ヲ啓發シ之レカ指導誘掖ニ努力セリ

爾來同群島ニ於ケル農耕ハ大イニ進歩發達スルニ至リ昭和四年ニ於ケル甘蔗栽培面積四千五百九十四「ヘクタール」ニシテ之レニ伴フ内地人ノ移住者年々増加シ現在二萬七百餘人ニ達セリ

尙サイパン島ニ於ケル製糖事業ハ大体ニ於テ完成シタルヲ以テ更ニ昭和三年ニハ「テニアン」島開拓ニ着手セシメ翌四年同地ハ甘蔗栽培千六百町開墾作付シ最近開墾面積ハ三千二百町甘蔗ノ作付面積二千七百町ニ達シ尙製糖能力千二百英噸ノ新式工場ヲ増設セラレ同工場事業用トシテ軌道十九哩布設セラレタルニ

依り本事業完成ノ曉ハ耕地面積六千町ニ達ス又製糖能力ハ更ニ二千三百英噸ト爲ス豫定ナリト云フ

斯クノ如ク同群島ニ於ケル糖業ハ近來著シク發達シ其ノ生産高ハ一千万圓ニ垂ントスルニ至リ今ヤ群島第一ノ産額ヲ見ルハ實ニ同人カ在職八年有半ノ久シキニ亘リ常ニ終始一貫島民福祉ノ増進ヲ圖ルト共ニ我カ移民ノ指導保護ニ任シ併セテ投資家ヲ鞭撻シ以テ斯業獎勵ニ貢獻スル所著大ナルニ依ル

三、水産業

同群島ハ陸地面積ノ甚タ狹隘ナルニ反シ海洋面積大ナルニ依リ同人ハ將來水産漁業ヲ確立スヘク就任勿々廣漠タル海洋ノ開拓ニ着手セルモノニシテ赴任當時ハ海洋ニ於ケル漁業全ク顧ミル者ナク僅ニ沿岸漁撈ニ依ル漁獲高僅カニ十九萬圓ニ過キササルヲ以テ同人ハ先ツ調査ノ急ヲ要スヘキヲ認メ大正十三年度臨時議

拓務省

會ニ追加豫算トシテ水産調査事業ノ經費ヲ要求シ同年中ニ水産調査船第一白鷗

丸(一〇屯、二〇馬力)ヲ建造スルノ外一方農商務省ト協同サイパン島近海ニ於テ鰹鮪

等漁業ノ調査ヲ開始セリ翌大正十四年ニハ陸軍省ト交渉朱雁丸(三〇屯、五〇馬力)ノ

管理換ヲ受ケ之ヲパラオニ廻船全地近海ノ漁業調査ヲ開始シ次テ大正十五年

度ニ於テハ第二白鷗丸(一〇屯、二〇馬力)ヲ建造ボナベ近海ニ於テ尙マーシャル群島近

海ニ在リテハ農林省水産講習所ト協同主トシテ鰹鮪漁業ノ調査ヲ開始セリ斯クテ引續キ銳意之レカ調査ヲ督勵スルト共ニ尙養殖繁殖調査ヲ行ヒ且ツ一面民間

漁業者ニ對シテハ各獎勵金ヲ下附シ以テ大イニ之レカ指導獎勵ニ努メ以來數年ノ調査獎勵ニ苦心ヲ重ネ因テ以テ將來有望ナルヘキヲ確認シタルニ付昭和五年

度ニ於テハ水産指導船瑞鳳丸(一八三屯、三〇〇馬力)ヲ建造南洋方面一帯ノ水産調査ニ

任セシムルニ至リ遂ニ茲ニ海洋開拓ノ基礎ヲ確立シタルモノニシテ昭和六年度

スインクイター用紙改良案用全案

ニ於テハ水産試験場ヲ設置シ一般漁業調査ニ任セシムルノ外水産製造加工調査
ヲ開始セリ斯クテ卒先漁業ノ奨励ニ努メタル爲昭和五年水産物ハ約百萬圓ノ産
額ヲ見ルニ至リ本年ハ其ノ倍加ヲ豫想セラレ又既ニ資本的事業トシテ漁業ニ着
手セルモノ數社ヲ數ヘ其ノ資本總額約二百萬圓ニ上レリ

拓務省

四二	八一七	五級俸下賜	内務省
	一〇、二三	陞敍高等官五等	内閣
	一二、二七	任群馬縣事務官	
		敍高等官五等	
		五級俸下賜	
		敍從六位	
四三	四、一	改高等官俸給令	
四四	八、一一	四級俸下賜	
	一二、二五	陞敍高等官四等	内閣
四五	三、一	敍正六位	
	六、二七	敍勳五等授瑞寶章	
大正元	一、三〇	補内務部長	内務省
二	一、一七	株式會社群馬縣農工銀行監理官ヲ命ス	大藏省
拓務省			
	六、一三	廢官	
		任群馬縣内務部長	
		敍高等官四等	内閣
		四級俸下賜	内務省
	六、二一	株式會社群馬縣農工銀行監理官ヲ命ス	大藏省
	七、二八	三級俸下賜	内務省
三	六、五	陞敍高等官三等	内閣
	七、二〇	敍從五位	
四	七、一	任三重縣内務部長	
		敍高等官三等	内閣
		二級俸下賜	内務省
	七、九	株式會社三重縣農工銀行監理官ヲ命ス	大藏省
	一一、七	賜金四百圓（大正三、四年事件ノ功）	

履歴書用紙乙（背田類）

